

# 緑が丘

校訓  
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」  
学校教育目標  
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校  
学校だより第20号  
(令和5年12月)  
文責 西澤 庄藏



## 参加体験型学習に取り組み、「バリアフリー」について身をもって学びました。

前回予告のとおり人権学習の取組を掲載します。

11/20(月)1年生の人権学習を参観しました。参加体験型学習の一つとして車いす体験を行っていました。並行してアイマスク体験(ブラインドウォーク体験)も行っていました。いずれも社会福祉協議会(田平)の方々を講師にお招きして共生社会について体験を伴った学習をしました。

また、佐世保特別支援学校北松分校(以下、「北分」)中学部生徒との交流も行いました。交流を通じて(同一敷地内に同居する中学生同士)互いを理解し、支え合う態度を育てるなど、好ましい関係づくりを図る目的で、今回は、レクリエーションを企画しました。本校生徒と「北分」中学部生徒が混ざったチームを編成して(年齢、性別、障害の有無に関わらず誰でもできる)ポッチャで、実演に学び、ゲームに興じる互いの中学生の姿がありました。

ほかに、2年生は現役高校生(猶興館高)を講師に、アンコンシャスバイアス(無意識の決めつけ)をテーマに協働学習形式で学びました。クイズあり、事例についての意見交換あり、自分事としての振り返りありと盛りだくさんでした。最後は宿題つきで、一過性の授業で終わらない配慮もありました。

人権学習の目的は、単に知識や技能を身につけるだけでなく、人権感覚・人権意識を高めることもあります。既に掲載した手話学習等、多岐にわたる「学び」がありました。一人一人の存在と可能性を大切に社会を形成するため、今後も人権学習を続けていきたいと感じたひとときでした。



目標球(ジャックボール)に赤・青それぞれ6球ずつより近くに投じることを競うスポーツです。

(1年生の授業)



(2年生の授業)

## 生徒会役員改選があり、1・2年生から新 会長・副会長が選出されました。

11/30(木)生徒会役員選挙を締めくくる立会演説会を実施しました。この集会は、立候補者の演説を聞くことで会長・副会長を決める判断の一つとすることはもちろん、学校や生徒会のよりよい在り方を考える契機にすることも目的として行いました。会長・副会長選挙に1・2年生総勢10名が立候補しました。

当日は、立候補者と応援責任者それぞれの演説がありました。それぞれの立候補者のリーダー論が語られ、理想論と侮るなかれ、リーダーとなる気概を聞くことができ、有意義なひとときでした。中には、1分30秒という限られた時間で四苦八苦しながらも演説する姿がありました。(今の3年生リーダーも同じだったように) 辛い経験を通じて人は成長することを目の当たりにした思いでした。

結果は、重富さん(2-1)が晴れて会長に当選しました。詳細は、後日、任命式がありますので、その折にこの紙面でも特集する予定です。立候補者・応援責任者の皆さん、そして、選挙管理委員の皆さん、おつかれさまでした。



主権者教育の一環として、実際の国政選挙で用いる投票箱、投票記載台を平戸市(田平支所)からお借りして選挙を実施しました。